

やってみよう! SO GO!

H30.9.8 尾道市立向島中学校 1年生総合通信 No.1

世界がもし 100 人の村だったら

1年生の総合的な学習が本格的に始まりました。1年生では、国際理解教育に取り組みます。2020年東京オリンピック、グローバル化、そしてしまなみ海道にサイクリングに来られる人たち。生徒の皆さんの周りにも、国際化の波が押し寄せています。そのような社会の中で生きていく未来、自分達に何ができるのか、どんな力をつけて社会に飛び出すのか、そんな事を受け止め、考え、発信し、学ぶ場になってほしいと願っています。

そのスタートとして、「世界がもし100人の村だったら」というワークショップをおこないました。何年か前にベストセラーとなった本です。ここに書かれている内容を、実際に体を動かしながら考えてました。生徒の皆さんは様々なことに気付いてくれました。

生徒の感想

この体験を通して、他の国では男の人が女の人より多い国があったり、日本と比べて子どもと大人が多くお年寄りが少ない国が多かったりすることが分かりました。世界を100人にしてみると、地域では、アジア州に1番人が多くいて、オセアニア州には誰も居ませんでした。挨拶のことばで、最も印象に残ったのは、「オラ」でした。私は「ズドゥラーストヴィチェ」で聴いたことない挨拶でした。こんなにもことばの差があるんだなと知りました。最後のお金の話では、貧しい生活をしている人と、裕福な人との違いがすごいなと思いました。

世界の人口は今72億人くらいだけど、50年前は今よりも25億人少なくて驚きました。そして、50年くらいでこんなにも人が増えるんだなと思いました。年齢で見ると、日本は高齢者がとても多く、子どもがとても少ないことが分かりました。日本の高齢化は世界的に見ると進んでいることが分かりました。地域の人口では、アジアの人が黄色いテープに入りきれないほどいっぱいびっくりしました。社会の時間にアジアの人口が1番多いと学びましたが、こんなにも多いなんてと思いました。

作者の伝えたかった思いは次の通りです。

いろいろな人がいるこの村では、あなたと違う人を理解すること、相手があるがままに受け入れること、そしてなによりそういうことを知ることが大切です。

国際理解教育では、まず、そこを大切にしていきたいと思います。

向島中学校の総合的な学習の時間では、「主体性」「柔軟性」「表現力」を育てます!!そして、やってみよう!を合い言葉に、自分達の可能性へ挑戦する姿を目指します!!

